

## ごみはルールを守り分別 しましょう

### ごみは分別しよう

平戸市では、ごみを排出する際には「もえるゴミ」「生ごみ」「ペットボトル」「飲料用の缶」「びん類」「危険物」「その他の不燃ごみ」「粗大ごみ」に分別しなければなりません。しかし、中には分別せずに混在したまま、ごみステーションへ排出されている場合が見受けられ、地区の人たちが分別を行っている状況です。家庭からごみを排出するときは、必ずルールを守り分別しましょう。

※各家庭に配付しているごみ出し便利帳を確認し、必ず分別してください。

ガスボンベなどの持ち込みは事前に確認を

家庭や事業所から、ガス

### ▼持ち込みできないもの



### ▼混在しているごみの例



ボンベやバッテリーなど事故につながるものが、北松北部クリーンセンターへ持ち込まれることがあります。事前に持ち込めるものを北松北部クリーンセンター(☎26-1300)または平戸市役所市民課へご確認ください。

問 市民課生活環境班 ☎22-9121

## ユー・マオ・チウ 羽毛球 (バドミントン)



国際交流員  
丁睿朗  
(ティ・エイロウ)  
(中国出身)

皆さん、お元気ですか。今回は羽毛球(バドミントン)の話です。平戸に来てからバドミントンを始めてちょうど3年になります。

私が最初にバドミントンを始めたのは父の影響です。小学2年生の時、父と一緒にバドミントン教室に通いました。まだネットより身長が低い私は、バドミントンの楽しさが分からず、何回も泣きながら母にやめたいと言いました。母は父に「丁丁はまだ小さい。練習は大変だからやめなさい」と伝えました。父は「この程度であきらめてしまうなんて」と言い、その時のとても失望した表情が今でも忘れられません。小さい私の心の中に、父とわだかまりのよう

な気持ちが残りました。

現在は、毎週平戸のクラブで練習しています。平戸のバドミントンのレジェンドが集まっており、いい練習になっています。去年の10月に肩を痛めてしまいました。整骨院に通いながら、仲間と一緒に試合に出場したことは、私の素敵な思い出です。自分の練習動画を父に送って、アドバイスをもらっているうちに、いつの間にかわだかまりも解けていました。皆さんも一緒にバドミントンやりませんか。



一緒に大会に出場したバドミントンの仲間と私

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143

「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です！  
また、平戸市ホームページでも動画を公開しています！



## 「神鳥なでしこ」

神鳥地区では、令和2年6月から平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。なでしこの小さい花が、肩を寄せ合って支えている姿に感銘を受け、自分たちもそうなれるようにという思いから「神鳥なでしこ」と名付けました。平均年齢77歳、参加者6人程度で毎週水曜日に活動しています。体操以外にも、季節ごとの花見や夏祭りなども行っています。

地域の小学生が下校時に神鳥公会堂を訪ねてくれることもあります。週1回の集まりの場は、日常会話や情報交換の場であり、参加者や子どもたちの笑い声であふれています。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介しています。

# 高齢者の通いの場訪問

— みんないきいき元気に —

VOL.67

## Interview

### 神鳥なでしこ

代表  
かたやま ひさこ  
片山 久子さん  
(木場町)



福祉の仕事に30年間携わった経験があり、通いの場の話があった時に、「地区の皆さんの介護予防に繋がるのでは」と思い「神鳥なでしこ」を立ち上げました。

活動を始めてからは、皆さんの表情が明るくなり生活の楽しみにもなっています。新型コロナウイルス感染拡大時には、参加者の安全のため、活動をお休みすることもあります。電話や自宅訪問を行い、様子を確認しています。

これからも、みんなで元気に楽しく活動を続け、世代関係なく地域の交流を深めていきたいと思っています。

活動日/毎週水曜日

午後2時～午後4時ごろ

活動場所/神鳥公会堂

開催地区/神鳥

代表/片山 久子

